

H30 年度 第 2 回ウィメンズヘルス理学療法領域 勉強会 報告書

日時：5 月 23 日（水）18 時半～

場所：山形済生病院会議室

内容：骨盤底機能の評価法

参加者：坂本、本間、庄司（山形済生病院）、浦山先生（山大付属病院）、高平先生、杉本先生（県立中央病院）

【内容】

切迫早産等で入院管理が必要になった妊婦さんに対する、廃用症候群でのリハオーダーが出た際に、どのように評価介入していけば良いのかと問い合わせいただいたため、講義にて主な評価法、介入方法の勉強会を実施した。

切迫早産等の妊婦さん、出産後の臓器脱や尿失禁等の骨盤底機能に関する問題を評価する際に必要な評価法をお伝えした。評価は整形外科的にランドマークの位置のずれがないか等のアライメントの確認、呼吸状態の確認、胸郭の動きの確認、呼吸と骨盤底筋群の評価法に関して説明。1 症例、架空の患者を例に出し、何の評価を行うべきか、そこから考え出される介入方法は何かを参加者からも意見を出してもらい、ディスカッションしながら学んだ。普段実施している評価法や介入方法を引き出しながら、どんどん意見を出してもらい、1 症例の評価から介入までの実際の流れを勉強した。

【所感】

はじめ口頭にて説明し、ディスカッション形式で行ったことにより、全くウィメンズヘルス領域を学んだ事のない参加者も、普段患者さんに対して実施している評価治療の原則が当てはまることを理解していただけたように感じる。ウィメンズヘルス領域はわからないと一線を引かれてしまわないよう、基本的は理学療法士としても評価介入方法は一緒であることをお伝えできたのでよかったと感じる。今後は実際の触診等の方法を具体的に実技方式で実施してければいいと感じた。

文責：庄司